

ゆめ

さくら

夢咲楽

～和輪話通信～

目次	■ 青少年センターの活動 1	■ マスミ先生のワンポイントアドバイス 「公衆無線LAN(Wi-Fi)を安全に使うには？」 3
	■ 子どもを育てる! ふれあいメッセージ 2	■ 青少年センター1年間の活動を振り返る 4

青少年センターの活動

研修班

講師を招いて青少年や市民向けの講演会を企画・実施いたしました。また、少年指導員向けの視察研修を実施するほか、他市の少年指導員との交流、意見交換も企画検討しているところです。

研修班 班長
井上 隆雄

体験活動班

私たちは、多くの子どもの笑顔に触れ合いながら体験活動を通して「楽しかった」そう子どもたちの心に残るような企画を考えてきました。今後は希望する子どもたち全員が、参加出来る企画を考えていきたいと思います。

体験活動班 班長 加藤 有希



広報啓発班

発刊にあたり、教育の現場で活躍する多くの方々に出会い、力を貸していただきました。ある意味わわ隊の中で一番人と関わる班です。隊員の活動にとどまらず、それぞれの想いなど目に見えない部分を伝えていけるようがんばります。

広報啓発班
班長 大河原 千晶

巡回活動班

巡回活動班は、奇数月の第一水曜日の登校時間に、市内の小、中学校と高等学校においてあいさつ活動を実施して2年になります。各校の児童生徒たちにもすっかり定着してきました。

朝のあいさつは一日の始まり。コミュニケーションの一つとして今後とも続けていきたいと思います。巡回活動班 班長 飯島 満

ICT研究班

今年度は栃木県警本部サイバー犯罪対策室と連携してサイバー犯罪対策に参画しました。

更にお役に立てる情報モラル啓発に取り組んでまいります。

さくら市のHP「ケータイを安全に使うために」をぜひ、ご覧ください。

ICT研究班 班長 田代 眞澄

さくらまちあそびクラブ

月1回、喜連川にある「わいわい広場」の蔵の中に、小さなお店が開店します。さくらまちあそびクラブが実施している「駄菓子屋」です。

さくらまちあそびクラブは、使われていない施設や歴史ある建物、古い神社・寺などが、子どもたちや多くの市民に愛され日常の中で活用できるようにしようと立ち上がった市民のグループです。喜連川のマップを作り、実際にまち歩きをしたときに、慣れ親しんだ場所や地域の歴史にも新鮮な発見があり、子どもの頃のように楽しかったことがきっかけで、「なつかしい駄菓子屋を復活させたい!」と月1回の駄菓子屋の活動がスタートしました。

駄菓子屋を始めたことで、それまで大人だけだった活動に小学生の子どもたちも「店長」として参加するようになりました。

「大人が楽しむ姿を見て、子どもたちが一緒に楽しんでくれました。子どもたちにとっては学校が自分の社会。学校以外の場所で家族や先生以外の大人と関わることはすごく刺激になるのでしょう。あいさつもしっかりできるようになり、自分より小さい子や大人に対しても我慢ができるようになりました。」「リピーターで参加してくれる中学生ボランティアの子たちに、こちらが教えられることも多いです。まちあそびクラブは、大人とか子どもとか関係なく参加できるところがいいところだと思います。」

活動を通して、まちとともに子どもも大人も育っていることを感じました。



お話をしてくださった方
まちあそびクラブ代表
高野 篤さん・黒宮やヨイさん

わわわ隊 大河原 千晶

ふれあい メッセージ シリーズ9

たかがあいさつ、 されどあいさつ

さくら市立氏家中学校
校長 中里 一成



〈あいさつという行為の意味〉

あいさつという行為の中で、人と人之间にはどのような交流が生まれるのでしょうか。あいさつをする側にとっては、相手へのメッセージとして、あなたに気づきましたというメッセージですし、あいさつをされる側にとっては、自分に気づいてくれたというメッセージとして受け止められます。さらに、あいさつするときは、今していることを一旦やめなければなりません。つまり、「あなたのために、時間を使います」＝「あなたを大事に思っています」ということもあらわしているのです。だから、先にあいさつができる人は、「人を大切にできる人」だとも言えます。

〈相手にきちんと届いてこそそのあいさつ〉

あいさつは、相手への思いの始まりですから、その思いが相手にきちんと届いてこそ意味を持つことになります。

だから、あいさつをするときには、まず先に、相手に体と視線を向けて、にこやかに笑顔で、明るく、はっきりと、さわやかにあいさつすることが大切です。

いいあいさつを交わして、互いに気もちよく生きていきましょう。



マスミ先生のワンポイントアドバイス



こうしゅうむせんらんワイファイ 公衆無線LAN(Wi-Fi)を安全に使うには?



さくらさん、インターネットを上手に使う達人になるため、今回は公衆無線LANについて学んでみましょう。

現在、外出先で手軽にインターネットが楽しめるように、公衆無線LANスポットが全国のいたるところに広がっています。駅、コンビニ、ファーストフード店など、身近な場所でインターネットを楽しめるというメリットはありますが、だれもが利用できるだけに危険なこともあります。今回はクイズ形式にしました。おうちの人といっしょに考えてみましょう。

事例

さくらさんのお姉さん(以下、お姉さん)は、高校のレポートを近くのファーストフード店で書くことにしました。

無線LANが使えるようになったからです。家では、弟の友人が遊びに来て、レポート作成に集中できないのです。

この日もファーストフード店の無線LANを使って、レポート作成のため情報を調べていました。パソコンには、友人との写真や動画がたくさん入っていましたが、とくにセキュリティは意識せずに使っていました。

それからしばらくして、友人からインターネット上にお姉さんのとった写真や動画が公開されているので、自分が写っているものは消してほしいといわれました。

お姉さんのパソコンに保存されていた写真や動画がだれかによってぬすまれて、悪用されてしまったようです。お姉さんの行動のどこに問題があったのでしょうか。○か×で回答しましょう。



マスミ先生

1

お姉さんは店内にほかの人がいるにもかかわらず、インターネットを利用した。店内に人がいない間に利用すれば、このようなトラブルはおきなかった。

2

お姉さんは無線LANセキュリティのことはあまりわしくなかったが、ファーストフード店はだれでも知っている有名な大企業であったので安心して利用した。

3

お姉さんはファイル共有機能を「有効」にしたまま、無線LANスポットを利用した。ファイル共有機能を「無効」にしておけば、このようなトラブルはおきなかった。

答えは4ページにあります。

次回に続く

➔ マスミ先生へのご質問は、生涯学習課 028-686-6621 まで

青少年センター1年間の活動を振り返る

5月 農業体験事業「田植え」
市内小中高校及び氏家駅周辺あいさつ巡回活動



7月 市内小中高校及び氏家駅周辺あいさつ巡回活動
和輪話通信23号発行

9月 農業体験事業「野菜苗定植・収穫体験」
農業体験事業「稲刈り」
市内小中高校及び氏家駅周辺あいさつ巡回活動



11月 農業体験事業「野菜収穫体験と収穫祭」
市内小中高校及び氏家駅周辺あいさつ巡回活動
全国青少年補導センター連絡協議会定期大会「栃木大会」参加
体験活動「わくわく探検隊 ツインリンクの森で遊ぼうよ!」

12月 和輪話通信24号発行
さくら市の子どもを考える
講演会「夜回り先生 いのちの授業
～子どもたちの明日を求めて～」
(講師 水谷修氏)



1月 花市あいさつ巡回活動
市内小中高校及び氏家駅周辺あいさつ巡回活動
視察研修「喜連川少年院・宇都宮少年鑑別所」



2月 体験活動「スケート」
和輪話通信25号発行



あとがき

万葉集に「銀も金も玉も何せむに勝れる宝子に及かめやも」という有名な歌があります。さくら市の子どもたちは、一人ももれなく「宝」であります。

「さくら市の子どもをみんなで育てよう」のスローガンのもと、今期も私たち少年指導員会は幅広い活動を展開しました。

これから春らんまん。新学期がスタートし、子どもたちの生活にも変化があります。良いスタートができることをお祈りいたします。

そしてさくら市の子どもたち、若者たちが自分の夢を未来に、希望をもってがんばれるように、見守る活動をこれからも続けてまいります。

さくら市青少年センター 少年指導員会(わわわ隊) 会長 田代 眞澄

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■ 広報啓発班 大河原 千晶 / 飯島 満 / 岡 一雄 / 加藤 朋子 / 田代 眞澄 / 手塚 良作 / 福田 克之

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつうしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第25号
発行日 平成27年2月20日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp